

取組事例の名称	平成23年度 東北地震応急06875-001号 東名運河応急塵芥処理工事（その1）
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦勞した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万が一、地震・津波が発生した場合に備え避難場所とそこへ行く経路を作成し、全作業員に周知させた。また避難訓練を実施し、連絡体制、経路の確認、修正を行った。 	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運河内のがれきを早く撤去し、きれいな運河にもどすことが出来、発注者及び地元住民より感謝された。また、最初の復旧工事を円滑に施工でき、地域の復旧のけん引役となれた。 	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、水中バックホウ、湿地式バックホウ等を検討したが、まだ行方不明者がいることを考えれば、一般的な工法である水中ポンプでの水替工法が単純で早く施工でき、正解であった。新技術、新工法も良いが、従来技術の確実性も大事であることがわかった。 	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近接した工事業者と協議会を立ち上げる。お互い連携をとりながら円滑な施工をすすめる。 ・地域住民とコミュニケーションをとる。 	
NETIS登録	